



各位

2006年1月吉日

国際若手デザイナーワークショップ2006

50:50 恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会

開催ご案内 (取材依頼)

www.idcn.jp/workshop/

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、国際若手デザイナーワークショップ開催委員会(名古屋市、国際デザインセンター)では、別添の通り、2月4日より「国際若手デザイナーワークショップ2006」を開催いたします。

「国際若手デザイナーワークショップ」は、2000年以降年に1度名古屋で開催しているもので、参加者が約1週間1つのテーマに沿って共同で課題に取り組んでいます。もののデザインよりも他分野・他文化の人とのコラボレーションを通じた社会体験に重きを置いたユニークな試みを行っています。日本をはじめ世界数カ国の若者が国籍・ジャンル・企業・学際を超えて集う、日本で唯一、世界でも類を見ない創造的な国際ワークショップとして、国内外の注目を集めてきました。

近年、日本では、生活水準が高まり、豊かになる一方で、価値観の多様化に伴い、非婚、晩婚、小子化、高齢化といった傾向が顕著になっています。家庭、家族、仕事に対する従来の価値観が喪われつつあるこうした社会変化に大きく関わるのが女性の存在であろう。先進諸外国の女性とは異なるユニークなアイデンティティを持つと言われる日本女性であるが、都会に住む彼女たちは今、何を考え、何を欲し、どのようなライフスタイルを実現しているのか。彼女達が活き活きと暮らし、参加していける環境や街づくりに貢献できる新たなデザインの提案とはどのようなものであろうか。

本回のワークショップは、映像メディア製作スタジオのBluespongeスタジオ(カナダ)をディレクターに迎え、

「50:50 恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会」をテーマに、カナダ、フランス、ポルトガル、タイ、中国、香港、韓国、台湾、日本約50名の若手クリエイター達が、名古屋市をモデルケースに都市と女性のライフスタイルの関係に着目。参加者は5班に別れ、五つのサブテーマ(コミュニティづくり、仕事、安全な街づくり、恋愛と結婚、

男・女の差異)の下に名古屋市内に住む女性に取材を行います。フィールドワークの研究結果を得に、シンポジウムを開催、ジェンダーの切り口からデザインによる新しい提案を試みます。

つきましては、本企画の趣旨をお汲み取りいただき、是非ともご高覧、また貴媒体にてご紹介賜りたく、ご高配賜ります様お願い申し上げます。

敬具

国際若手デザイナーワークショップ開催委員会

■お問い合わせ■

キュー・リーメイ・ジュリヤ / (株)国際デザインセンター・海外ネットワークディレクター

460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル

TEL:052-265-2105/ FAX052-265-2107/mail:voice@idcn.jp



名称＝「国際若手デザイナーワークショップ2006-50:50 恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会」

日時＝2006.02.05（日）と02.06（月）09：30 - 18：00 「フィールドワーク」

2006.02.10（金）13:30 - 20:00 「シンポジウム+レセプション」

主催＝国際若手デザイナーワークショップ開催委員会（名古屋市、国際デザインセンター）

企画＝プロデュース＝キュー・リーメイ・ジュリヤ

■フィールドワーク

日時＝2006.02.05（日）と02.06（月）09：30-18：00

会場＝名古屋市内各地（＊詳細は別紙1フィールドワークプログラム参照）

チームA「コミュニティづくり」 地域における子育てや高齢者や障害者を支援するNPO法人「こども&まちネット」、自然出産を手助け・思春期や更年期の女性のサポートをする「前田助産院 ら・くーな」、多世代間交流スペース「クリハウス」等で活躍する女性を取材。デザインと「コミュニティづくり」の関わりを探究し、新しい提案を考える。

チームB「仕事」 名古屋市男女平等参画推進センターの女性管理職や、転職情報誌「とらばーゆ」（リクルート刊）の編集長を訪ね、女性の働き方の多様性に迫る。管理職を目指す女性が直面する問題を考察するとともに、男女が共に働きやすい社会・職場環境を提案する。参加者は出身国の男女平等施策を事前に調査し、日本の状況と比較する。

チームC「安全な街づくり」 名古屋市交通局が導入した地下鉄女性専用車両や、名古屋芸術大学付属クリエ幼稚園を実際に訪れ、都市生活における子育て環境や、女性にとって安全な街づくりを考える。

チームD「恋愛と結婚」 名古屋に暮らす、様々なライフスタイルの20代女性（主婦／独身、フリー／勤務、一人暮らし／家族と同居など）およびブライダルプランナーを取材する。現代女性の恋愛・結婚観を切り口に、非婚、晩婚、小児化現象の要因を探る。

チームE「男／女の差異」 日常生活における男女の差異の観点に注目し、日本メナード化粧品において男性用商品を作る女性デザイナーや女性用商品を作る男性デザイナーを取材。また、幼児を持つ多世代同居の家庭を実際に訪問する。異性を眺める互いの視点を考察することから、生活用品開発へのヒントを導き出す。

■公開シンポジウム（＊別紙2 POWER TALK 第7弾案内参照）

POWER TALK 第7弾「50:50 恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会」

日時＝2006.02.04.（金）13:30-17:30（開場13:00-）、レセプション18:30～20:00

会場＝国際センター5F第一会議室（地下鉄桜通線国際センター駅直通）

参加料＝無料（レセプションのみ3,000円、当日受付でお支払い下さい。）定員＝60人（申込不要）



50:50

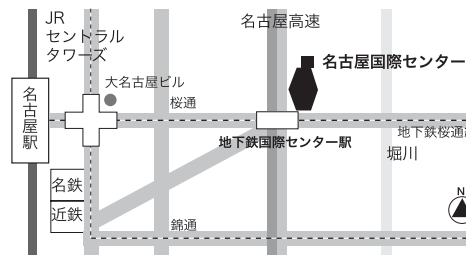
恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会

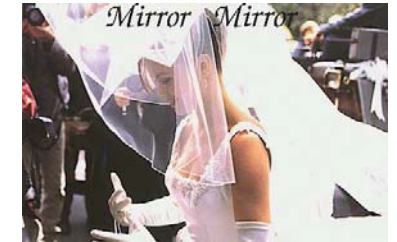


日時=2006年2月10日(金)
 シンポジウム13:30~17:30(開場13:00~) / レセプション: 18:30~20:00
 会場=名古屋国際センター 5F 第1会議室
 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号(地下鉄桜通線国際センター駅直通)
 定員=60名(申込不要・英語・日本語同時通訳付き)
 入場料=無料(レセプション参加希望の方は、3,000円、当日受付でお支払い下さい)
 主催=国際若手デザイナーワークショップ開催委員会(名古屋市・国際デザインセンター)
 企画・プロデュース=キュー・リーメイ・ジュリヤ(国際デザインセンター・海外ネットワークディレクター)
 問い合わせ
 国際デザインセンター「POWER TALK 第7弾」係
 〒460-0008名古屋市中区栄3-18-1ナディアパーク・デザインセンタービル
 TEL: 052-265-2105 / FAX: 052-265-2107 / mail: voice@idcn.jp



カナダ、フランス、ポルトガル、タイ、中国、香港、韓国、台湾、日本の若手クリエイター・学生たち約50名の参加を得て開催される今年度の国際若手デザイナーワークショップは「50:50 恋愛・結婚、仕事・子育て、家族・社会」をテーマに開催。そのリサーチ結果・提案内容を紹介する公開シンポジウムは、名古屋市をモデルケースに都市と女性のライフスタイルの関係を考察。現代日本の多様な仕事観・家族観を探り、女性たちの声やそれを取り巻く都市の情報をドキュメンテーション化し、まちづくり等の視点からデザインによる新しい提案を試みる。生き方の選択肢がさらに広がる時流の中で、都会に住む女性たちが生き生きと暮らし、参加していける環境や街づくりに貢献できる新たなデザインの提案とは果たしてどのようなものであるうか。





50:50

love & marriage, work & children, family & society



Date : symposium : 13:30- 17:30, Friday 10 February / 2006 : reception : 18:30 - 20:00

venue : 5F Nagoya International Center, 1 No. 47, 1-chome, Nagoya, Nakamura-ku, Nagoya (Kokusai Center Stn., Sakura-Dori Line)

capacity : 60 persons (no need for pre-registration, Japanese / English translation included)

fee : free (3,000 yen per person for those who wish to attend reception)

organized by International New Designers Workshop Organizing Committee (City of Nagoya, International Design Center NAGOYA)

produced by Leimei Julia Chiu (Director, Global Communications, International Design Center NAGOYA)

for inquires :

International Design Center NAGOYA

Design Center Bldg., 18-1, Sakae 3-chome, Naka-ku, Nagoya, 460-0008 Japan

TEL : +81(0) 52-265-2105 / FAX : +81(0) 52-265-2107 / e-mail : voice@idcn.jp



The symposium is an exploration of how the lifestyles and values of Japanese women affect social trends in this country by using the City of Nagoya as a case study. 50 upcoming designers and students from Canada, France, Portugal, Thailand, China, Hong Kong, Korea, Taiwan and Japan will present their research findings from a week-long field work in Nagoya during which they tried to determine problematics related to gender issues and come up with innovative propositions of how we can use design to improve everyday life.

